

# 庶民の庶民による 庶民のための政治

## 保守改革を志向する無党派市民の物語

「保守改革」とは、自由と民主主義を守る現在の政治体制を「保守」しつつ、バブル経済崩壊によって疲弊した社会構造や経済構造の責任ある「改革」を目指す21世紀の新しい政治理念です。



信濃義塾地域振興研究会 会長

ふじもり ひろし  
**藤森 弘** (40歳)

岡谷市長地東郷生まれ。  
長地小学校卒。岡谷東部中学校卒(生徒会副会長)。  
諏訪清陵高校卒(学友会・協議会議長)  
慶応義塾大学法学部政治学科卒(「地域主権」の  
国際政治学専攻。在学中、児童劇団に所属して  
役者と演出助手を経験。シナリオ作家を志すが…)  
大学卒業後、八十二銀行勤務の後、中途採用  
試験で信濃毎日新聞社に報道記者として入社。

飯田支社、長野本社経済記者クラブ担当記者、文化部担当記者を経て、フリーライターとして独立。福島県大沼郡昭和村で木造廃校舎を再生させた「喰丸文化再学習センター」の事務局を担当する傍ら文筆活動を続ける。

父親の死去を契機に帰郷し、学習塾「信濃義塾」を設立。現在、同塾代表。代ゼミサテライン予備校代表。日本ファイナンシャル・プランナーズ協会会員(AFP)。

小・中学生や高校生の学習指導に加え、主婦・高齢者などを対象としたパソコン教室を併設するなど、従来の「進学塾」の枠を超えて、「信濃義塾」を老若男女が集う「生涯学習塾」として発展させることに取り組む一方、地域振興研究会会長として地域振興施策の研究や提言などを行っている。

現在は高校受験を控えた子供たちを熱血指導中。4月以降は塾運営の責任者を妻とバトンタッチする予定。座右の銘は、「天人一如」「独立自尊」「地域づくりは人づくり。教育は未来づくり」

## 信濃義塾地域振興研究会

(事務所) 岡谷市中央町1-4-21山之内ビル2階 童画館通り JR岡谷駅近く  
TEL 0266(24)5574 FAX 0266(24)5688  
ホームページ <http://selfnet.ne.jp> 電子メール [fujimori@selfnet.ne.jp](mailto:fujimori@selfnet.ne.jp)

現在の岡谷市の人口ピラミッドを見てほしい。

三〇〜四〇歳台の人口が極端にくびれてしまっている。

それと呼応するように少子化が進んでいることがわかるだろう。

働き手の中核となり、子供を産み育てる世代の空洞化が顕著だ。

岡谷市の活力が低下している主因は、ここにある気がする。

いつの間にか岡谷市は、若者に嫌われる街になってしまった。

なぜだろう？

先日、同年代の青年が岡谷から東京へ引越した。

彼は旅立ちのときに、吐き捨てるようにこう言った。

「岡谷市の停滞の原因は派閥抗争だ。旧〇〇派、現〇〇派などと言って、

何をするにも足の引張りが合いません。これでは商売にならない。もう、たくさんだ。

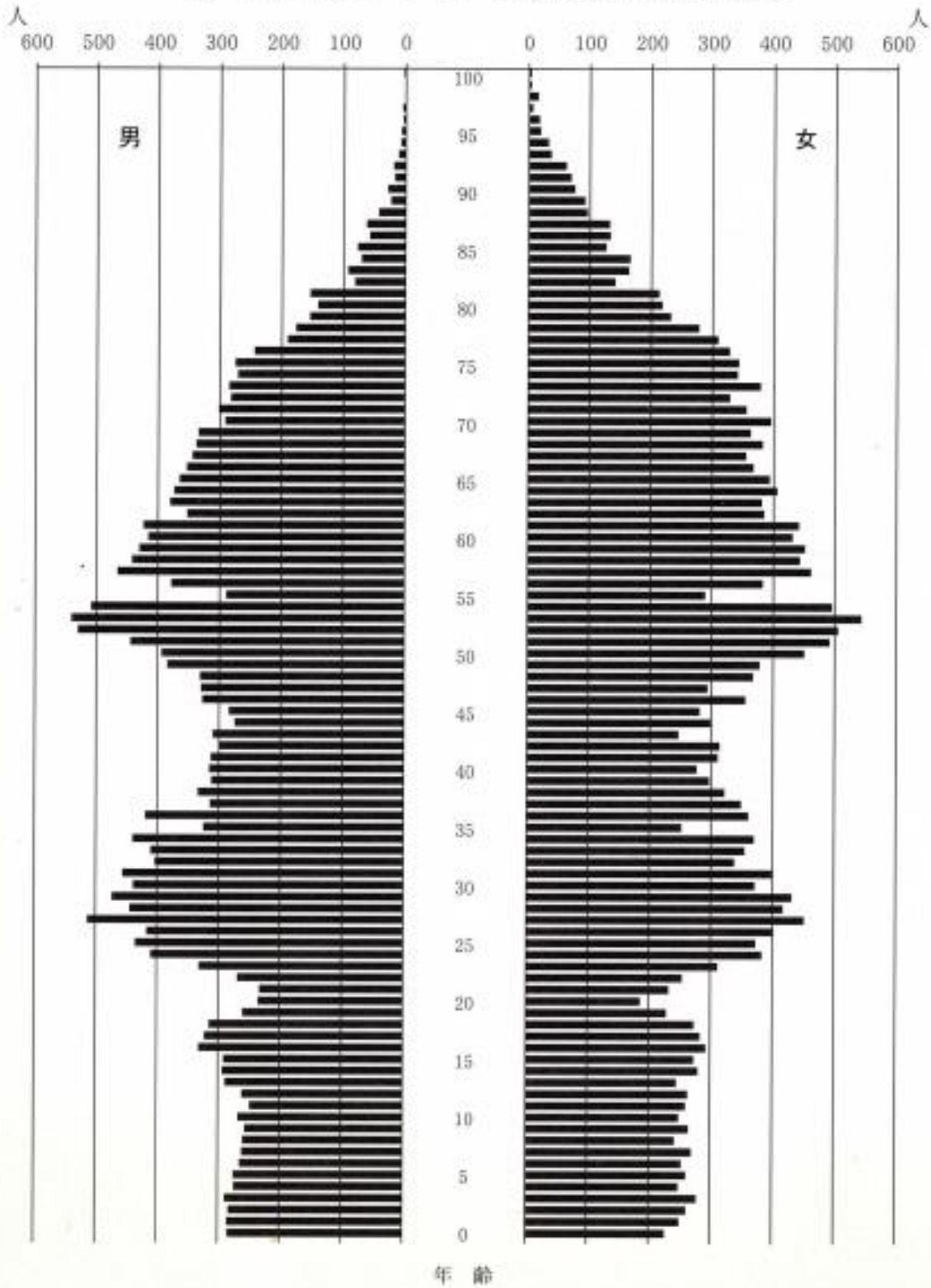
こんな田舎街に二度と帰って来るものか」

私は言葉を失った。

若者が希望を失うような街に未来はない。何とかしなくては…



人口ピラミッド（平成13年10月1日現在）



派閥抗争を無くすには、当たり前だが政治を変革するしかない。しかし、住宅ローンや事業の借金を抱え、政治資金がない。

企業・団体献金が利益誘導型政治の元凶であることは間違いない。この不景気に「金がかかる選挙」など百害あって一利なしだ。どうしよう。そうだ、今までの常識を根底から打ち破ろう。

「選挙や政治には金がかからないのが常識だ」

それを新世代の合言葉にしよう。

サラリーマンでも主婦でも若者でも…誰もが気軽に政治に

「参加」することができる新しい政治文化を郷土に築いてみよう。そして、次の三カ条を心に誓った。

企業・団体献金は一切受け取らないこととする。

善意の個人献金も一人千円までのカンバのみとする。

陣中見舞いは受け取らず、不正の温床となる戸別訪問もしない。



私は、県議会選挙を例にとって必要最低経費を調べてみた。

供託金はいくら必要なだろう。

六〇万円（法定得票数以上で選挙後返還）

ポスターの印刷代は？

法定得票数以上で公費負担

はがき代は？

八千枚まで切手代公費負担、印刷経費など自己負担

「へーえ。主な経費は公費で面倒見てくれるんだ」

私は意外だった。

「選挙には金がかかる、とみんなが言うけれども、これはやりようによっては

あまり金のかからない選挙ができるかも知れない」

不思議と力が湧いてきた。



「あとは選挙期間中の飲み食いだな。それが問題だ」

私は、ポスター貼りなどの労務は選挙ボランティアを公募することにした。そして私の頭の中でさまざまプランが湧き上がって来た。

「ウグイス嬢を雇うお金もないから、騒音をまき散らすだけの街宣カーはやめよう。その代わり、県政に対する意見や要望を地域住民と同じ目の高さで直接対話して、意見交換する時間をできるだけ長くしよう。少しずうずうしいけれども、弁当代もみんなにカンパをお願いしよう……」

庶民感覚あふれる究極の「手弁当選挙」だ。

「でも、みんなに理解してもらえるだろうか。ちょっと不安だけれども、頭を下げてお願いするしかない」

私は、決断した。

「庶民の庶民による庶民のための政治を目指そう」と。



# 正会員 & 賛助会員募集

信濃義塾地域振興研究会では、地域振興施策の研究および提言などを共に考える正会員を募集しています。

また、特定の場所へのポスター貼りなどボランティアに協力していただける賛助会員も募集しています。

官製はがき、FAX、電子メールなどで、お名前、住所、電話番号、電子メールアドレス（お持ちの方のみ）をお知らせ下さい。

電話でのお問い合わせ時間は、午後1:00～5:00限定でお願いします。

申し込み先は、表紙の事務所宛でお願いします。



平成15年2月吉日

各 位

信濃義塾地域振興研究会

会長・藤森 弘

### 講演会「ナノテクビジネス最前線－事業化成功の秘訣」の御案内

厳寒の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。関係各位におかれましては平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、“超”精密産業としてのナノテクノロジー（超微細技術）への関心が高まっていることは周知の通りでございます。

そこで、ナノ・ビジネス・マーケティング研究所の松井高広所長にお願いして、下記の通り「ナノテクビジネス最前線」をテーマにした講演会を開催することになりました。ナノテクノロジーを用いた「事業化成功の秘訣」を伝授していただくという企画です。

御多忙とは存じますが多数の皆様のお参集をお願い申し上げます。

#### 記

日 時：平成15年3月14日（金）午後1：30～4：00

場 所：テクノプラザおかや大研修室

受 講 料：無料

講 師：松井高広氏（ナノ・ビジネス・マーケティング研究所所長）

著書「ナノテクビジネス最前線－事業化成功の秘訣」（すばる舎）

「ナノテクビジネス成功へのシナリオ」（実業之日本社）

申 込：電話、FAX、Eメールで御予約のうえお出かけ下さい。

電話 0266(24)5574 FAX 0266(24)5688

Eメール fujimori@selfnet.ne.jp

**R100**  
RESEARCH INSTITUTE FOR  
REGIONAL VITALIZATION